

「苫小牧市消防庁舎整備計画(案)」に対する意見募集 実施結果

平成25年9月24日(火)～平成25年10月23日(水)

《整備の必要性と目的について》

NO	ご意見等の概要	ご意見に対する消防本部の考え方
1	津波に対応するとあるが、重量物を4階に設置した場合の耐震設計を即行い、建設コスト増加を防止すること。機械室、電気室等を4階に配置する案となっているが、重量物を4階に設置すると耐震性・拡張性の点で大きな制約となるので十分な検討が必要。	大規模災害時の高機能消防指令センターの機能維持を最優先とし、機械室、電気室等を4階に配置しています。また、庁舎は国土交通省が大地震動に対して施設が持つべき耐震安全性の目標を定めた「官庁施設の総合耐震計画基準」の耐震安全性分類Ⅰ類とし十分な安全性を確保します。
2	噴火に対応するとあるが、機械室・電気室・発電機室等の空調設備の検討を十分に行うことが必要。(高機能指令センター等も同様)噴火時のふんじん対策は考慮されているか。空調がなければ、噴火時のふんじんで電気室等の機能はマヒとなる。	様々な災害を想定し、空調設備等を検討します。

《新庁舎の基本構想～利便性に優れた庁舎》

NO	ご意見等の概要	ご意見に対する消防本部の考え方
3	市民・企業のプライバシーに配慮したレイアウトとする。消防本部エリアには会議室がなく、とてもプライバシー保護が可能と思われぬ。相談事はロビーで行うのか。消防団関係エリアを2階南側とし、3階に会議室を設け、相談毎のプライバシー保護が図られるレイアウトとする。	3階ロビー会議室はプライバシーに配慮したものを計画しています。その他、2階の小会議室を使用することなどを想定しています。

《新庁舎の建設方針～災害対策室と高機能消防指令センター》

NO	ご意見等の概要	ご意見に対する消防本部の考え方
4	災害対策室と高機能指令室を隣合わせとし、指示の徹底が可能なレイアウトとする。建設方針では災害対策室と高機能指令センターが一体となり、災害対応にあたるとなっているが、庁舎イメージ図では間に通信事務室が入っており、一体化が図られていないため、情報伝達の確実性・迅速化が最大限図られていないレイアウトとなっている。	高機能消防指令センターは、10年程度で機器の更新が必要となる施設であるため、機器の更新時は、通信指令業務を継続しながら機器の更新が可能な方式を採用しました。具体的には、通信事務室の左右にある災害対策室と高機能指令センター及び機械室を機器更新時に入れ替える方式となります。また、災害対策室と高機能指令センターが一体となるように、通信事務室の壁を透明にするなどの対策を検討します。